

2025 年 7 月 3 日

活動報告書（4 月～6 月）

プロジェクト名:同志社バーチャルキャンパスプロジェクト D-verse

作成者:永井康仁

1. 4 月～6 月の目標

4 月から 6 月にかけて、以下の目標を設定し活動に取り組んだ。

- (1) Cluster に搭載されている機能を活用するためのメンバー育成
- (2) 活動グループの再編成
- (3) 同志社七不思議体験ワールドのコンセプトの設計

2. 活動内容とその成果

*イベント別、チーム別、月別などカテゴリごとに分かりやすく分け、自由に記述してください。画像添付可。

(1) Cluster に搭載されている機能を活用するためのメンバー育成

Cluster 上でより詳細な機能追加を行うため、Cluster に標準搭載されている Logic 機能の活用練習として、メンバー数人に短期間で一人につきワールドを1つ作成するハッカソンを行った。今回作成したワールドはバーチャルキャンパス内のハブワールドに設置し 10 月のけいはんな R&D フェアや 11 月のクローバー祭などで公開する予定である。

(2) 活動グループの再編成

メンバーの卒業・変更により、昨年度までの歴史班、Unity 班、Blender 班という編成での活動が難しくなった。また、昨年度まで存在していた問題点として、各班同士の交流や共同作業が少なかった点や 1 つの班にタスクが集中するという点があげられる。これらの現状を踏まえ、メンバーを以下の 3 つの班に再編成した。

① キャンパス改良班

これまでに作成したバーチャルキャンパスの修正や、バーチャルキャンパスの散策をより楽しく、また学びのあるものへと改良するタスクを担当する。

② 新ワールド作成班

同志社女子大学のキャンパスなどといった新たに再現するバーチャルキャンパスの作成や、イベント用のワールド作成を担当する。

③ 広告班

2023 年度に作成した広告用の動画の他に、キャンパス紹介、機能紹介などといった別視点から D-verse の活動やバーチャルキャンパスの魅力を伝える新たな動画の作成や、イベント出展用のポスター作成、広報といったタスクを担当する。

この再編成によって、時期によって班ごとに集中していた負担の分散や、メンバー同士の交流の不足といった問題点の解消が期待できる。

(3) 同志社七不思議体験ワールドのコンセプト設計

上記の再編成を行った後、新ワールド作成班では5月末より同志社七不思議体験のワールドに取り組んでいる。その一環として、同志社の七不思議について再度調査を行い、メンバー間でコンセプトを決定するための打ち合わせを行った。しかし、新たに作成するワールドの理想図と実装可能な範囲のすり合わせや、コンセプトの確定までには至っていないため、7月中旬を目処にコンセプトと実装箇所の確定、作成を開始し、8月末までの仮完成・公開を目指している。

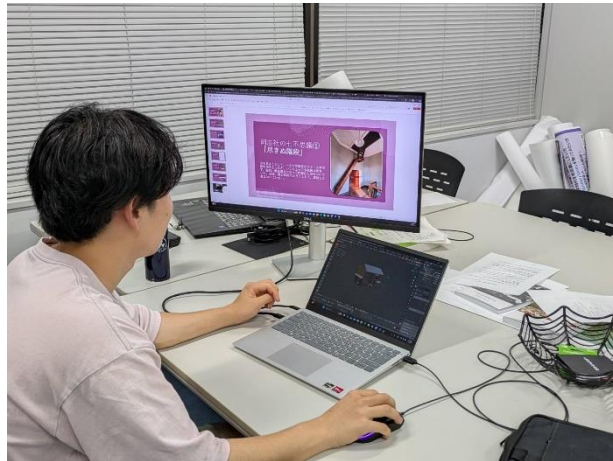


図 1 同志社七不思議の再調査・コンセプト設計

3. 今後の活動予定

今後は150周年記念日に向けて、同志社についてより楽しく学べるバーチャルキャンパスを実現するべく、3つの班が協力しあいながら活動に本格的に取り組んでいく。合同説明会やけいはんなR&Dフェア、クローバー祭といった出展に向けて、7月末に同志社女子大学の完成・公開、8月末に同志社七不思議体験ワールドの仮完成、10月末までに一通りの機能追加など、一つ一つ改良及び作成を進めていく所存である。